



2月県議会(2/16～3/16)で **和田 あき子** 議員が一般質問を行いました(2月26日)。質問と答弁の要旨を紹介します。

※ 生活保護申請の対応を適切に ※

【和田】1例目、失業し、メンタルで受診中のシングルマザーが生活保護申請。市の担当者も即座に要保護と判断したが、車の使用制限の説明に説明者が判断不能となり申請をあきらめた。2例目、重介護度の親を介護し自身もがん治療で高額の医療費。収入を上回る支出で生活困窮して10月に保護申請したが、担当者が受け付けず2月に再申請した。窓口相談で申請意思を確認し受け付けるべきケースで申請できなかったケースが後を絶たない。寄り添った対応が無ければ待っているのは絶望感だ。

【健康福祉部長】相談者が申請をためらう相談指導は、申請権を侵害する恐れがあり決してあってはならない。対応が適切に行われるよう福祉事務所に指導を徹底する。

※ 県として福祉灯油(低所得者対象の暖房用灯油の給付支援)実施を ※

【和田】高齢者の貧困化が進んだ原因として、年金給付水準の低下が指摘されている。今年は厳しい寒さと灯油代の高騰が追い打ちをかける。福祉灯油は市町村が行うべきものと県は繰り返すが、県民のくらしを応援する立場で県として実施を検討して欲しい。

【健康福祉部長】灯油以外にも使用できる商品券支給を含め11町村で福祉灯油を実施。住民の状況を把握する市町村が行うことが適切だ。国には必要な財源措置を求めている。

【和田】実施は市町村、県はやりません、国には財源を求めるといつも同じ回答。残念だ。

※ 丹波島橋渋滞対策と歩行者の対応 ※

【和田】通勤時間帯に慢性的な渋滞を生ずる117号線丹波島橋。結局ボトルネックは“橋”。犀川に橋が必要と考えます。検討状況はどうなっているのか。

【建設部長】平日24時間で4万8000台の交通量。通勤時間帯のバス専用レーン設置等取り組んできた。長野都市圏総合都市交通計画協議会で対策を研究していく。

【和田】丹波島橋南の青木島北交差点は、国道117号線を渡るには歩道橋しかない。杖に頼りシルバーカーに頼る皆さんは昇り降りできない。調べたら歩道が無いところを横断する歩行者が約5割。交差点南側に横断歩道を求める要請にどう対処するか。

【警察本部長】県内でも交通量が極めて多い交差点。高齢者等が歩道橋を渡らず道路を横断する状況。安全確保と交通円滑化の両面で道路管理者と横断歩道設置の必要性を協議している。

質問を終えて

和田 あき子

県民の暮らしに寄り添った県政を願い、質問をしました。福祉灯油は一切検討の余地もない答弁に、福祉の心がないと痛感しました。